

水辺の生き物は何を食べているのかな？

～生き物どうしの"食"のつながりを考えてみよう～

まるごと魚や虫を食べる生き物

～共通点は獲物をパクッと飲み込める大きな口～

**特定外来生物に
要注意**



オオクチバス（通称 ブラックバス）
北米原産の外来生物。顔の先端に大きく上下に開く口で、水生昆虫や小魚などを**沢山**捕食する**大食漢**。田んぼの周りでも多くの在来生物の生息が脅かされ問題になっている。

在来生物...昔から日本にいる生き物の種類
外来生物...もともとは外国だけにいた生き物の種類
特定外来生物...日本にいる生き物や農作物などに被害を与えると考えられている生き物の種類



カエル～舌を伸ばして獲物をそこにくっつけて口に引っ張り込む。



ナマズ（左）、ギバチ（右）～鋭い嗅覚と長いヒゲをつかって獲物を見つけて捕獲する。目はあまりよくない。夜行性。



鳥
田んぼにはサギやツバメ、マガンなど様々な鳥が飛んできます。鳥たちにとっても田んぼは大切な餌場となります。

針のような口で魚や虫を食べる生き物

タイコウチの仲間



とがった口を突き刺し、消化液を注いで獲物を溶かして、その液を吸っている。



コオイムシの仲間



アメンボ

マツモムシ

水中のプランクトンをろ過して食べる生き物

体の中にある特殊なフィルターで、プランクトンをこし取って食べる。そのため水の透明度が上がる。



ミジンコ



シジミの仲間



ドブガイの仲間

藻や虫や水草などいろいろなものを食べる生き物



メダカ～上向きで落下した陸生昆虫やプランクトンなどを中心に食べる。水面近くを泳いでいる。



タナゴの仲間～小さな口で水草や藻を中心に食べる。



タモロコ～底生生物やプランクトンなどを中心に食べる。



アブラハヤ～ふちやくそうい付着藻類や底生生物、水生昆虫などを食べる。比較的早く泳げる。



カマツカ（左）、ドジョウ（右）～下向きの口で水底の泥や砂を掃除機のように吸い込み、中に含まれる有機物や小さな虫を食べる。いらぬ泥砂はエラからはき出す。

水底にたまった有機物を食べる生き物



タニシの仲間



イトミミズ
頭を泥底に突っ込み、泥ごと食べる。田んぼの中にイトミミズがたくさんいると、稲が立派に育つ、いい土を作ってくれる。

*幼魚と成魚で食性が異なることがあります。

みんな何を食べているのかな（生き物の良い食とは）？

生き物は種類によって食べ物の好みが変わっています。水辺に生息している身近な生き物はいったい何を食べているのでしょうか？口の形や行動をじっくり観察して、どんな餌を食べているのか調べてみましょう。

また、生き物は何かを食べるだけでなく、時には別の生き物に食べられます。田んぼでも生き物たちの食物連鎖がくり広げられています。

このように、生き物たちは自分に適した場所に生息し、自分に適したものを食べています。